

刊行の辞

「解放」後、とりわけ一九五〇年代の在日朝鮮人社会の分析において、見落としてはならない事柄の一つに生活困窮者層の形成（生活保護受給者の急増）がある。ある統計によれば一九五一年八月現在で五九、九六六名（保護率九・六％）であった外国人生活保護受給者は、数年間のうちに急増し、一九五五年には一三七、三九五名（保護率二一・四％）にまで達していたのである。

このような状況の背景には戦後直後からの高い失業率、復興の進展による闇市や濁酒売り等の非法産業の取締強化、ドッジ・ライン以降における同胞系中小企業の倒産、在日本朝鮮人連盟の強制解散といった当時の事情が複合的に影響し、在日朝鮮人は総じて低賃金重労働の下請け産業労働や日雇で暮らざるをえなくなっていたからである。そしてその結果、在日朝鮮人は仕事にあぶれたり、身体健康を損なえば即座に窮してしまう生活構造におかれ、やむをえず生活保護を受給する貧困者が続出したのであった。

他方、戦後日本の生活保護制度は「日本国民の権利保障」としての側面を強調する中で、在日朝鮮人を段階的に排除した。現行生活保護法（一九五〇年）における「国民」規定の挿入、サンフランシスコ講和条約発効（一九五二年四月）にともなう日本国籍「喪失」などを契機として、日本政府・生活保護行政当局は在日朝鮮人を生活保護受給の適用対象から外し、恩恵的な「一方的行政措置」として、「暫定的な「準用」措置をとるようになるのである。国家予算の配分問題を端緒とする生活保護行政の「適正化」方針の中で、一九五六年には「外国人被保護者一斉調査」が展開され、調査前の時点で一三五、二七八名（保護率二三・七％）であった外国人生活保護受給者は、調査後の一九五七年一月には八〇、一七八名（保護率一三・五％）にまで減少させられたのであった。

本資料集ではこのような一九五〇年代の在日朝鮮人の生活保護受給者をめぐる事情について、包括的な検討が可能となるように関連資料を広汎に収録した。大きくは在日朝鮮人による生活実態調査や運動実践記録、厚生省や地方の生活保護行政当局による通達・統計、自治体・治安当局による記録資料などである。

今日、生活保護制度の「改革」論議がさかんとなり、その一部では在日外国人の生活保護受給「問題」に対するバッシングもあらわれはじめている。本資料集が収録する記録群は、そのような論議の歴史的淵源の一つとして、今日的な課題にもつながる側面があるだろう。批判的な視角をもって当時の状況を把握することで、あらためて現在の問題を考える足がかりとなることを願いたい。

金耿昊（在日朝鮮人研究者）

▼収録資料（資料の一部）

第1巻

一 在日朝鮮人生活実態（一九五一～五三）

在日朝鮮人の生活実態（在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会社会経済部編）
在日朝鮮人の生活実態―東京都江東区枝川町の朝鮮人集団居住地域における調査（在日朝鮮科学技術協会）

父兄の実態調査研究資料―東京都立第一朝鮮人小学校（朝教組）
生活を守る会の婦人たち（李黎）

二 「生活を守る会」関係運動記録（一九五三～五七）

『あなたも生活保護がとれます』（生活相談全国連絡事務局）
『生活通信』朝鮮人関係記事（生活相談全国連絡事務局）

三 在日朝鮮人生活保護闘争関係記事（一九五一～五四）

『生活通信』朝鮮人関係記事（生活相談全国連絡事務局）

四 在日朝鮮人関係生活保護行政通達集（一九四九（一六四）～五〇（一六四））

生活保護法の集団の適用の規整に関する件
生活に困窮する外国人に対する福祉措置の方針について
朝鮮人学童に対し生活保護法による教育扶助の適用に関する件
生活保護法の集団の適用の規整について
生活に困窮する外国人に対する生活保護の措置について
在日韓国人及び朝鮮人に対する生活保護法の適応状況に関する資料提出について
外国人保護に関する一斉実態調査の実施について
外国人に対する生活保護の適正保護に関する疑義について
外国人による暴行傷害事件について
日韓間の覚書に基き仮放免される朝鮮人に対する保護の実施について
北朝鮮帰国の被保護者数について

第2巻

五 生活保護調査関係資料（一九五五～五六）

秘 外国人被保護世帯一斉調査要綱
秘 復命書 上京民生安定所における外国人特別調査打合会出席状況
外国人被保護世帯一斉調査計画表（京都市左京民生安定所）
秘 外国人保護適正化一斉調査の実施概要（京都府）
外国人保護に関する特別調査の実施について（愛知県）
朝鮮人に対する生活保護法適用状況調（名古屋市）
五大都市における朝鮮人保護状況比較表
秘 外国人一斉調査の参考（名古屋市瑞穂区社会福祉事務所）

本資料の特色

▼一九五〇年代を中心に、戦後日本社会における在日朝鮮人の生活困窮者層の動向（とりわけ生活保護受給者の動向）を広汎に記載した初めての資料集。
▼在日朝鮮人の生活実態に関する報告書とともに、当時展開された生活困窮者による「生活を守る会」の運動記事を収録。当時在日朝鮮人がどのような生活状況におかれ、そしてどのようにして生活保護受給者が増えていったのかを知る貴重な資料。
▼在日朝鮮人被保護者の実態については、厚生省や地方自治体による統計・通達・行政資料を収録。一九五〇年代半ばに展開される「外国人被保護者一斉調査」の準備過程や実施状況などを立体的に把握することができる。
▼「外国人被保護者一斉調査」に関する地方行政による記録資料・メディア資料も収録。一斉調査によってひきおこされた朝鮮人被保護者大量打ち切りが、どのように報道され、またどのように歴史化されたのかを知ることができる。

（千葉通信員 発）敵は「李ライン」でさわざたてているが、日朝人民が苦しんでいる本当の原因はそこにあるのではない。あの有名な九十丸里浜は米軍演習場にとられた東京湾には防潜網がはられて魚はいれなかった。

あなたも

生活保護がとれます

生活相談
第1巻
生活保護法の巻

生活相談全国連絡事務局

生野区に於ける
生活保護行政の特性について

大阪市生野区福祉事務所

生保を切られたら
日ぼしになってしまう

【川崎通信員発】生活を守る会では民生安定所の生活保護うちきり、減額に反対する対策（たいさく）を相談しました。そこでは○よびだしは生保をうちき

秘

昭和三十一年十月

生活保護法による
外国人世帯一斉調査結果表

京都府民生労働部社会課

第十回被保護者全国一斉調査報告

六 在日朝鮮人生活保護受給者統計（一九五一～五八）

朝鮮人の保護状況（厚生省社会局保護課）
生活保護法による被保護朝鮮人の状況調（厚生省社会局保護課）
生活に困窮する外国人の保護状況について（厚生省社会局）
外国人保護状況（生活保護監査参事官室）

七 生活保護行政関係資料（一九五三～五八）

在日朝鮮人の生活保護とその現状『生活と福祉』
被保護外国人の一斉調査結果『生活と福祉』
被保護者全国一斉調査の諸問題『生活と福祉』
秘 外国人に関する調査報告書（東京都総務局総務部企画課）
秘 生活保護法による外国人世帯一斉調査結果表（京都府民生労働部社会課）
生野区に於ける生活保護行政の特性について（大阪市生野区福祉事務所）
在日外国人保護と適正化対策『生活保護三十年史』

八 公安関係・その他資料（一九五〇～五四）

在日朝鮮人に対する生活保護法適用状況について『特審月報』
秘 朝鮮人に対する保護について
失業斗争の動向『失業闘争の動向』

九 メディア資料（一九五六）

朝鮮人の生活保護『朝日新聞』

会が、生活保護費の風としてこれを取上る。生活保護費は、日本入営みに引下げて、この分を立てたものをつわれた。一方朝鮮人民のなかでも「不当な支給は自動的にやめ、相対助で生活問題を解決しよう」との動きも顕出してきた。

朝鮮人の生活保護